

2025 年 7 月

日本教育制度学会会員 各位

日本教育制度学会会長 清水 一彦
第 32 回大会準備委員長 佐々木 司

日本教育制度学会第 32 回大会のご案内

拝啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、来る11月8日（土）、日本教育制度学会第32回大会を山口大学が大会校となって開催することとなりました。つきましては、下記のとおり大会日程をご案内いたします。

開催方式は完全オンラインといたします。大会日程は11月8日（土）の1日のみの開催とし、午前を中心に自由研究発表を、午後から総会、公開シンポジウム、研究・教育交流会（情報交換会）を予定しております。なお、課題別セッションは大会日程とは切り離れた別日程で行われます。

会員各位におかれましては、日頃の研究成果をお持ち寄りいただき、教育制度研究の交流と更なる発展を図る機会として頂きたく存じます。会員の皆様のご協力により充実した大会になりますよう、大会準備委員会一同、心より願っております。どうぞ奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

敬具

記

I. 日程

- 9：30-12：25 自由研究発表
- 13：15-14：00 総会
- 14：15-16：45 公開シンポジウム
- 17：00-18：30 研究・教育交流会(情報交換会)

II. 開催方式 オンライン（zoom 等によるオンライン会議ツールを利用）

III. 参加費 正会員・臨時会員とも無料

IV. 発表等の申込について

（1）自由研究発表

自由研究発表を募集します。発表は本学会員に限ります。ふるってお申し込みください。

① 発表時間：個人研究・共同研究ともに40分（発表20分、質疑応答15分、指定討論5分）。

② 申込方法：「自由研究発表申込用紙」（同封のもの。学会ホームページからもダウンロード可。

<https://www.jseso.org/news/>）に必要事項をご記入の上、メールまたは郵送にて大

会準備委員会にお申し込みください。メールの件名は「自由研究発表申込（氏名・所属）」をお願いします。（送信先：jseso.2025@gmail.com）

③ 指定討論者：発表者は、指定討論者の内諾を得てお申し込みください。指定討論者を決めかねる場合は、学会事務局が依頼します。申込用紙にその旨を書き添えてください。

④ 申込締切：**8月31日（日）必着**

⑤ 発表申込留意事項：

- ・発表者は、事前に指定討論者の方と連絡をとり、発表用資料（レジュメ等）に目を通していただくよう段取りをお願いします。
- ・万一、やむを得ない理由により発表を取りやめる場合は、速やかに大会準備委員会までご連絡ください。なお、発表取りやめになった場合も、次の発表を繰り上げることはいたしません。

（２）課題別セッション

本学会は会員の研究活動の発展に寄与するために、教育制度に関する最先端の研究課題について討議する課題別セッションを設けています。申し込みは原則として、課題担当理事のみとなっています。

① 申込方法：「課題別セッション申込用紙」（同封のもの。学会ホームページからもダウンロード可。<https://www.jseso.org/news/>）に必要事項をご記入の上、メールまたは郵送にて大会準備委員会にお申し込みください。メールの件名は「課題別セッション申込（氏名・所属）」をお願いします。（送信先：jseso.2025@gmail.com）

② 申込締切：**8月31日（日）必着**

V. 公開シンポジウム

日時：2025年11月8日（土）14:15～16:45

方法：オンライン開催

定義づけられた静的制度を動的制度として捉え直す
—コミュニティ・スクール先進地からの問いかけ—

（趣旨）

学校運営協議会の法制化から20年、設置の努力義務化から8年が過ぎた。山口県は他県に先駆けてコミュニティ・スクールを導入してきた県であり、2020年4月には県内全ての公立小・中・高等学校・特別支援学校が学校運営協議会を設置してコミュニティ・スクールとなった。「先進地」を自認する山口県では、コミュニティ・スクールによる地域連携教育が県・市町教育委員会、公立学校はもちろん、地域住民や山口大学等の関係者にも浸透している。

ところで、コミュニティ・スクールと学校運営協議会とでは、もちろんデノテーション（明示的な意味）に違いもあるし、コノテーション（暗示的な意味）も異なるだろう。文脈にも拠るが、山口県でよく聞く短縮形「コミ・スク」、「学運協」からも、そこに込められたニュアンスや趣（おもむき）の違いを感じることはある。山口県ではコミュニティ・スクールのことを、学校運営協議会が設置された学校と単純に捉えてはいない。

コミュニティ・スクールに限らず教育関係の制度には、定義や概念の拡大もしくは溶解とでも言い得

る現象が起こり得るのではないか。この問題関心のもと、本シンポジウムでは法的定義ないし本来規定された概念から逸れ、そこに新たな意味やイメージを付与する行為を「実践的な知恵」と呼ぶことにする。「静的制度」が運用段階に至り、そこに与えられた「実践的な知恵」を、拡大、逸脱、溶解した「動的制度」から探究してみたい。

＜登壇予定者＞ 以下、五十音順

岸本 睦久 (文部科学省)

元兼 正浩 (九州大学)

山下 晃一 (神戸大学)

＜司会進行＞

佐々木 司 (山口大学)

V. 研究・教育交流会（情報交換会）

今回の研究・教育交流会（情報交換会）は、「オンラインだからできるよさ」をコンセプトに検討中です。現時点では以下のような「部屋（ブレイクアウトルーム）」を考えています。各会員の関心にあった「部屋」で交流を深めていただければ幸いです。

「続 静的制度と動的制度の間にあるもの」

ここでは、シンポジウムでの議論を引き継ぎ、それをさらに深化させた形で意見交換できる場を設ける予定です。

その他に、あらかじめ設定したテーマに基づき情報交換を行う部屋、敢えてテーマを設定せず自由に交流できる部屋などを考えております。テーマ等についてご希望がございましたら、大会準備委員会事務局（担当；小杉 jseso.2025@gmail.com）に、8月31日（日）までにご連絡ください。

VI. 参加申込方法等

大会への参加申込方法（google フォーム）は、10月上旬の大会プログラム送付の際にお知らせいたします。（参加申込をされた方にだけ、大会の数日前に、参加 URL、ミーティング ID 等を通知します。）

■ お申し込み、ご連絡先

〒753-8511 山口県山口市吉田 1677-1 山口大学大学院教育学研究科内

日本教育制度学会 第32回大会準備委員会 小杉進二 宛て

メールアドレス：jseso.2025@gmail.com

※ ご連絡は可能な限りメールでお願いします。

日本教育制度学会 第32回大会準備委員会
準備委員長 佐々木 司（山口大学）
事務局 小杉 進二（山口大学）